

第 32 回 JOMF 特別企画セミナーを大阪で開催

2017 年 1 月 27 日(金)、大阪商工会議所において、第 32 回特別企画セミナーを開催致しました。このセミナーは 2016 年 11 月 29 日開催の海外医療情報交換会のフォローアップセミナーとして大阪で行われたものです。

ゲストスピーカーには、千代田化工建設株式会社グローバル本社 診療所 所長 古閑比斗志先生をお招きし、「海外派遣社員の健康管理～リスク管理の観点から」について、ヤンゴンの LEO メディケア勤務の水野佳織看護師より「ミャンマー医療事情～ヤンゴンにおける日本人のための医療施設情報」について、海外巡回健康相談ご担当の田中健一先生からは JOMF の海外巡回健康相談について報告をいただきました。いずれも東京での情報交換会よりも時間を多めにとりお話をさせていただきました。

関西各地に加え、長崎、愛知、海外からのご参加もいただきありがとうございました。

【来場者】

総数 27 名がご参加。うち、医療職の方々は 14 名、企業人事総務・海外部門の方々は 13 名。

【報告・講演の概要】

・事務局より:

海外医療情報交換会の報告 & 拠点クリニックから現地収録のメッセージ／今後の活動として検討中の「拠点医師との Skype 懇談会」モニタリングの報告

・講演

「海外医療巡回報告」西埼玉中央病院 田中健一先生

2002 年に相談会開始、毎年各地で歯科相談や日本人学校での授業も実施。初期の頃からの変化として、家族で参加するケースの増加があげられ、また、9 割の人には問題がなく「問題ない」という安心を得たくて相談会に来ていること、巡回相談において大学との共同研究が行われていることなどが報告されました。



「ミャンマー医療事情～ヤンゴンにおける日本人のための医療施設情報」



ミャンマー LEO Medicare 水野佳織看護師

ビデオメッセージ: ミャンマー LEO Medicare 伊藤哲先生

ヤンゴンにある LEO Medicare 伊藤哲医師のビデオメッセージをまじえ、ミャンマーの医療事情が紹介されました。LEO Medicare が入っている Victoria 病院は公立病院と掛け持ち勤務の医師が来る夕方から混みはじめるなど、文化の違いも交えて新鮮なお話を伺いました。

「海外派遣社員の健康管理～リスク管理の観点から」

千代田化工建設株式会社グローバル本社診療所 所長 古閑比斗志先生

海外プラントの現場や病気の症例写真など上映のみで示された資料も多数あり。予防接種は危機管理部門とも連携。赴任前研修では医療面のケアに加え、行き先によってはテロ対策の訓練まで行い、海外へ送り出しているとのこと。海外で注意の必要な各種感染症についてもわかりやすい解説をいただきました。大阪ならではのアットホームな雰囲気もあり、気軽にフロアとのやりとりが行われ、ご参加の専門家からもインフルエンザの最新動向についてのコメントを聞かせていただきました。

